

新チャレンジ章「ピカッと探検家」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・ピカッと探検家とは

くらしに欠かすことのできない様々なエネルギーを家庭やお店に届けているミツウロコヴェッセル社と、発電の仕組みや自然エネルギーについて学びましょう。



電気を使えるようになるまでの道のりを表現したスゴロクを使って、発電の仕組みや電柱・電線・変電所について調べて、毎日使用する電気の大切さについて考えることができる、ピカッと探検家に挑戦しよう！

毎日使っている電気は、家や学校に届くまで、想像以上にとっても長い道のりがあります。当たり前思わず、大切に使うことを知っていただきたいと考えています。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

ピカッと探検家では、4つの細目を達成するため、電気の供給と電力自由化について考える、スゴロクに仕立てました。

電力にとってマイナスの面を「青」プラスの面を「赤」で示しており、止まった駒を動かすことができます。一方、「橙」は必ず止まるマスとして、事前に組やご家庭で準備したことを発表し、要素「ピカ素」を獲得できます。全てのピカ素を集めて、ゴールにたどり着けるかを競います。

多くの便利なものが電気で動いており、私たちは恩恵を受けています。あえて不便であることや電気以外のエネルギーについて話を広げるなど、活動の幅を広げてください。資源エネルギー庁の「[スペシャルコンテンツ](#)」が参考になります。

【プログラムと細目の関連性】

1. 電気を供給するための仕組み（発電・送電・小売）を知る。

役割が分かれていることから見える、自由化されていない要素は何でしょう。

2. 石油やガスなどを使った発電と、再生可能エネルギーでの発電の違いを知る。

燃やすだけではない抽出の仕方や、環境に配慮された仕組みも理解しましょう。

3. 電力自由化について調べ、これまでと何が違うのかを知る。

ソーラーパネルなどが増えた理由も含めると、小売も含めた違いが分かります。

4. 自分自身で取り組む節電の目標を決めて、実行する。

ただ使わない、ということではなく、適切に使うことを目指したいですね。



・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。



・組集会での取り組み

細目およびすべてのプログラムは、組集会でも実施することができます。取り組みに必要な要素を集め、調べて、発表するなどの活動として取り組んでください。

・家庭での取り組み

テレビやビデオ、ゲームに音楽というように、生活と電気を切り離すことはできません。どのように工夫して使うか、自分の目標設定について考えてみてください。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「ピカッと探検家宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

ピカッと探検家を着用するという事は、電気の大切さを知り使うことのできるスカウトの証です。活動に限らず、朝起きてから夜寝るまで、多くの場で電気を使っていることが、環境にどう影響を与えるのか、考える機会としてください。

・使ったワークブックは

ピカッと探検家宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動当日の様子は、写真での記録をお願いします。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

本プログラムは企業とのタイアップによるものです。多くの皆さんに組み込んでいただき、その報告をすることで次年度へのつながり、また新たなテーマへとつながっていきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

【報告いただく内容】

- 実施日時
- 月間プログラムのテーマ
- 展開方法
- 実施回数
- 実施場所
- 概要・展開
- バッジ取得スカウト数
- スカウト宣言
- 活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）
- 実施時の気づき
- 新チャレンジ章へのご意見 など